

# ボクだけほめてくれる ロボット

兵庫県

二年 石井 蓮人さん



★どうして「ボクだけほめてくれるロボット」を作ろうと思ったのですか？

夏休みに、ずっとママの近くにいて、ずっと怒られて嫌でした。それで、ほめてくれたらいいなと思って考えました。

帰るのが遅くなって叱られたときには、お母さんの気持ちを伝えてくれたのは、どうして？

叱られるのが嫌だから、どうして叱るのか教えてくれるといいと思ったからです。

★発表の時は、どんな気持ちでしたか？

始まる前は、恥ずかしくてドキドキしました。でも、みんなの前に出た時から、楽しくなりました。原稿が出来上がって一か月以上練習したので、上手になったと思います。「やればできる」と思いました。

★「ボツくん」という名前は、どうして思いつきましたか？

ロボットの「ボ」とボクだけ「ボ」を合わせて考えました。

★立体作品を作るときに、絵と変えたところはありますか？

アンテナのところですか。絵では、とがっていたけれど、かわいくしたかったので、丸くしました。首があると変だったので、首をやめて、頭を胴体にくっつけました。ねじでつけて頭が回るようにしました。

ボツくんの中で一番工夫したところは、どこですか？

寝る前に、今日一日頑張ったことをほめてくれて、ボツくんの背中が暖かくなったところ。ハートがたまっていくところ。漢字ノートをきれいに書いたら、シールがたまるところをヒントに思い付きました。ボツくんの背中にハートがたまるとうれしくなります。ハートがたまるところの扉は、磁石を使ってくっつくように工夫しました。

小さなボツくんも作っていましたよね。それは、どうしてですか？

いつも一緒にいられるように

考えました。おねえちゃんにアドバイスをもらって、どこにも連れていけないようにしました。

蓮人さんとボツくんの蝶ネクタイがおそろいなのが、素敵ですね。思いついたきっかけを教えてください。

お姉ちゃんのダンスの発表会で、チームの人がみんな一緒に服を着ていました。ぼくたちも同じチームなので、一緒にしようと思いました。

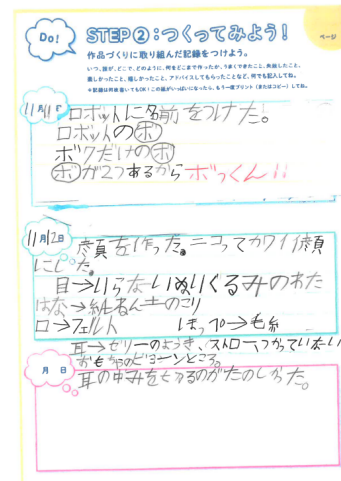
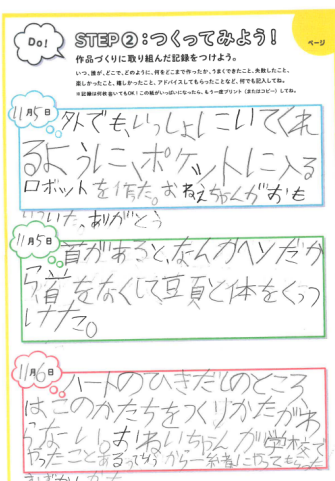
作るときに難しかったところは、どこですか？

肩のボタンです。YouTubeを見て作りました。ボタンを押すと、引っ込んでまた上がったくなるようにしたかったんだけど、ペットボトルと豆腐の箱で作った時には、引っ込んだままで、上ってきませんでした。それで、豆腐の箱を組み合わせて作るとうまくできました。

立体作品を作って、どうでしたか？

最初は、立体作品を作るのは、いやだなと思いました。でも、作ってみたら楽しかったです。作っているときに、うまくいかずに「もうやめた。」と思ったこともありました。でも、がんばって作って発表したら多くの勇氣になると思ったので最後まで頑張れました。

作っているときに、お父さんや、お母さん、お姉ちゃんたちとロボットのお話をしましたか？



もうぼくは、終わるまで遊ばへん！

最後までやる！

自分の言ったことはやらないといけない。

はい。アドバイスももらいました。お姉ちゃんとは、けんかもするけど、アドバイスももらってちょっと好きになりました。

★発表の原稿は、どんな順番で考えましたか？

「字が汚い。やり直し。」から考えました。お父さんにも、どんな順番がわかりやすいか聞きました。

最後に、「みんなちがってみんない」という言葉が巻物で出てきたけれど、どうして巻物にしようと思ったのですか？

一番伝えたかったからです。小さいころから、お母さんが言っていました。

どのくらい発表の練習をしましたか？

一か月以上しました。最初のころは、あんまり上手じゃなかったけど、練習したから、上手になりました。

上手になった自分を振り返ってみてどう思いますか？

やればできると思いました。みんなの前でしゃべるのは、恥ずかしかったけど、楽しかったです。

お父様、蓮人さんの頑張っている姿をご覧になって、どんな思いがこみ上げてきましたか？

直前まで泣いていたので、発表ができるのか心配でした。電話で話をしたのですが、本番で出てきたときに泣きそうなのがわかりました。でも、途中から普通通りになったので、感動しました。お姉ちゃんと一緒に感動して泣きました。



お父様から見られて、コンテストに出たことで、変化はありますか？

細かな作業とかにも集中して取り組んだことで、何に対しても、集中力がついたと思います。いい経験をさせてもらいました。

お母様、ずっとそばで見えておられてどうでした？

この子は、外で遊ぶのがすごく好きで、制作には向いていないと思っていたので、最初学校から電話があった時には、できるかなと心配でした。でも、「最後までやるからやらせて。」と言ってきたので、がんばってみようかと思いました。

お母様側から見て、蓮人さんの言葉にどんなことを感じられましたか？

その言葉を信じてみようと思いました。途中で、今日は遊ぶのをやめて作ろうって言うたのに、毎日遊ぶ約束をしていたことがありました。その時に、「最後までやるって言ったよ

ね？」と言ったら、次の日に、

「もう僕は、ロボットを作り終わるまで遊ばない。」と、きちんと友だちに言うて真剣に取り組みだしました。今までと違って自分から「遊ばない」と決めて帰ってきたのには、驚きました。

末っ子なので、途中で助けを求めることがよくあったのですが、本番自分で、一人でやり遂げたという自信から「やってみよう」「できるかも」と、言葉も変わってきました。様々なことにチャレンジすることが増えてきました。

あまり器用じゃないのですが、工作とか、机の上でできる細かい作業にも自分から取り組みだしました。コンテストがきっかけで物づくりにも興味をもち出したと思います。

▼あとがき▼物づくりを通して身についた、最後までやり通す力と「やればできる」という自信は宝物だと思います。(YM)▼蓮人さん自身がこのロボットに生命を吹き込んだからほめられるようになったのでしょね。

(MK)